

職員による自己評価と次年度に向けてをまとめました。また、それを受けてコミュニティスクール「代陽幼稚園サポート協議会」委員の皆様には『学校関係者評価』をしていただきました。貴重なご意見を参考に、次年度の教育に生かしてまいります。学校関係者の皆様には、アンケートの記入をありがとうございました。

※職員評価欄・・・6人評価をしています。

※学校関係者評価欄・・・7人評価していただいています。(サポート協議会委員:地域、幼稚園OB、後援会など)

4:十分達成されている 3:概ね達成されている 2:取り組んでいるが十分でない 1:不十分である

4:十分達成されている 3:概ね達成されている 2:取り組んでいるが十分でない 1:不十分である							
令和6年度 園評価(職員)		4	3	2	1	平均評価	職員の自己評価と次年度に向けて
学級の子供たちは	1	安心して園生活を送っていますか	4	2		3.7	○各クラスの子供は、少人数であるが、一人一人個性がある。クラス活動や異年齢活動を取り入れ、個々に合わせ、寄り添い、励ましてきたことで、自分からできることが増え、幼児期の終わりまで育ってほしい(10の)姿を通した育ちも見られた。 ○日々の生活や遊び、松高幼稚園や白鷺保育園など他園との交流を通して、同年齢や異年齢の友達と遊びを楽しむことができた。 ○松高幼稚園との合同運動会、合同生活発表会を通して、同年齢の友達に刺激を受け、いろいろなことに挑戦し、最後までやり遂げようとする姿が見られるようになった。 ○「やつしろスピリッツ」について始業式や終業式など節目に話をしたことで、先生も子供たちも意識して取り組むことができた。個人差はあるが、話をする場面を意図的につくることで、少しずつ話すことに抵抗がなくなるように心がけた。 ●あいさつは、時と場合によるため、コンスタントにできるようになるとよいと思う。さらに定着するように声をかけていきたい。 ●少人数での子供同士の育ち合いの難しさもあるため、引き続き工夫をしていく。
	2	基本的な生活習慣(食事、手洗い、排泄、衣服着脱など)が年齢に応じて身に付いていますか	2	4		3.3	
	3	身の回りのものを整理整頓できますか	2	3	1	3.2	
	5	同年齢や異年齢の友達と遊びを楽しんでいますか	5	1		3.8	
	6	いろいろなことに挑戦し最後までやり遂げようとしていますか	3	2	1	3.3	
	7	自分の考えや思いを先生や友達に伝えることができますか	4	2		3.7	
	8	自分から気持ちよいあいさつをすることができますか	1	4	1	3.0	
	9	話す人の顔を見て、話を聴こうとしますか	3	3		3.5	
	10	靴のかかとを靴箱の手前のへりに揃えていますか	3	3		3.5	
	先生は	11	一人一人の子供に温かく公平にかかわり信頼関係を築いていますか	5	1		
12		一人一人のよさを認め、自分も他人も大切にすることを育てる保育をしていますか	5	1		3.8	
13		保護者や地域の人と信頼関係を大切に保育をしていますか	5	1		3.8	
14		保育参観(運動会などの行事を含む)、個人面談、降園時の話を通して子供の様子や育ちをわかりやすく伝えていきますか	5	1		3.8	
15		保護者の話を聞いたり気軽に相談しやすい雰囲気や対応をしていますか	3	3		3.5	
16		体を動かす遊びの充実、遊びの場や計画的な遊びの工夫をしていますか	2	3	1	3.2	
17		合理的配慮や一人一人に応じた支援など特別支援教育を推進していますか	5	1		3.8	
18		子供の遊びの記録と読み取り、保育内容の見直しと工夫、指導計画の見直しなど園内研修の充実にも努めていますか	5	1		3.8	
19		愛情と使命感をもち、子供と共に学び、共感していますか	5	1		3.8	
20		報告・連絡・相談ができていますか	6			4.0	
21		不祥事防止に努めていますか(飲酒運転、情報漏えい、体罰、公金横領など)	6			4.0	
園は	22	園の教育方針や教育目標をわかりやすく伝えていきますか	4	2		3.7	○保護者の方々の声を聴きながら園行事を進めていくことで、教育方針に理解や協力を得ることができた。 ○松濱軒や市立図書館など文化教育施設を利用することができた。代陽校区のよさとしてしっかりと大切に活用していきたい。 ○幼小連携の取組では、校区共通のアプローチカリキュラムを作成したり、研修で同校区の小学校の先生たちと積極的にコミュニケーションをとるようにしたりしてきた。次は、架け橋期カリキュラムの検討ができるようにアプローチをしていきたい。 ○ホームページは、週2回の更新に取り組み、園の様子を発信している。 ○環境整備は、限られた人員と予算でできる限り整えている。
	23	幼小の円滑な連携や接続の取組ができていますか	5	1		3.8	
	24	地域の特色を生かし、周りの自然環境、文化などを取り入れていますか	6			4.0	
	25	安全な保育環境や遊び方について実践や指導をし、事故防止に努めていますか	6			4.0	
	26	園だより、園長だより、学級だより、HPなどの情報はわかりやすく伝え、保護者等の関心や役にたつ情報となっていますか	6			4.0	
	27	保育室、玄関、園庭、花壇、畑、掲示板などの環境整備や清掃を行い、生活しやすい環境にしていますか	5	1		3.8	
		総合平均評価				3.5	

学校関係者評価		○をつけてください				
評価項目		4	3	2	1	平均評価
子供たちは	1	登園を喜び、楽しく園生活を送っていますか	7			4
	2	幼稚園生活を通して、心身ともに成長していると思いますか	7			4
	3	気持ちよくあいさつをすることができますか	3	4		3.4
先生は	4	一人一人の子供に温かく公平に関わり信頼関係を築いていると思いますか	7			4
	5	一人一人のよさを認め、自分も他人も大切にすることを育てる保育をしていますか	7			4
	6	保護者の話を聞いたり気軽に相談しやすい雰囲気や対応をしていますか	4	3		3.6
園は	7	園の教育方針や教育目標をわかりやすく伝えていきますか	6	1		3.9
	8	幼小の円滑な連携や接続の取組ができていきますか	4	3		3.6
	9	地域の特色を生かし、周りの自然環境、文化などを取り入れていますか	7			4
	10	園だより、園長だより、学級だより、HPなどの情報はわかりやすく伝え、保護者等の関心や役にたつ情報となっていますか	7			4
11	保育室、玄関、園庭、花壇、畑、掲示板などの環境整備や清掃を行い、生活しやすい環境にしていますか	7			4	
		総合平均評価				3.9

※気付かれたことや、今後改善を要すると思われることを、ご自由にお書きください。

・園児たちは明るい園生活を楽しみ、のびのびと育っているようだ。
 ・園児数が更に少なくなり、とても心配していたが、先生方の愛情と工夫で、子供たちが安心して園生活を送っており、とても嬉しく思う。
 ・行事の折に感じるが、先生たちの子供に向かう姿勢がとても細やかな気遣いが見える。
 ・園庭の植物を育て、「皆で食べる」、「収穫までの様子を見ながら」などということは、少ない人数だからこそできることかもしれないが、そこをうまく使った大切な繋がりを学んでいるのではないだろうか。
 ・もちつきについて、杵は子供用で臼は大人用を使っていた。臼を子供用にしないと杵の長さや臼の深さの関係で臼の縁に手を挟んでしまう。子供用の臼がなければ、大人が手を添えてあげるといいと思う。
 ・閉園が決まりとても悲しく残念に思うが、決定された今、子供たちみんなが代陽幼稚園を卒園できてよかったと感じられるよう、変わらず、全先生が愛情をもって関わってくださっていると思う。
 ・交流や合同行事など初めての取組があったが、一年生になる年長組にとってはありがたく、よい経験ができたと思う。
 ・少人数のデメリットである子供同士の多様な関わりをカバーするため、保育園との交流や松高幼稚園との定期的な交流、行事の合同開催がなされ、自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合いなど必要な育ちが確保された。
 ・松高幼稚園への移動では、保護者の協力や路線バスの利用など、安全面の配慮が大変だったと思う。次年度も継続されると思うが、現状に慣れず、常にマニュアルを確認し、安全な活動を切望する。
 ・来年度で閉園となるが、在園の子供・保護者が、有意義な幼稚園生活を送れるよう、できることはサポートさせていただきたい。
 ・今後とも地域の一員として、園に親しく関わっていきたく思っているが、閉園とは残念である。時代の流れの一つではあるが、今後とも幼児教育の重要性は変わるものではないので、幼稚園制度の在り方や施設、教育方針の見直しは緊急の課題であろう。自治体の役割は、ますます重くなるものと思われる。長期間、幼児教育を見てきたが、今後とも関心をよせ続けていきたい。現在、シニアの人々と楽しく学ぶ会を続けているが、これらは社会教育の一環に値するものではない。しかし、社会教育と幼児教育との連携などの試みも将来性があるものだろう。小さな一歩となればいい。
 ・「代陽幼稚園はどうしてなくなるのですか」とよく聞かれる。環境は人をつくり、また、人は環境をつくるといわれるが、市の中心部でありながら八代宮の畔の閑静な地にある本園は、人、物ともに恵まれた素晴らしい幼児教育の場と思う。幼児教育が大切であるといわれながらも、国公立幼稚園のおかれている現状は大変厳しいものがある。少子化の中で、保育園との関連、私立幼稚園との関係も含め、議論され固まりつつある時期とは思うが、今行っている幼児教育がより充実していくことを基盤としていただき、財政の問題や親のニーズだけに振り回されることなく、教育論で改革していただきたいと思う。
 ・今後、地域の幼児教育のセンターとしての役割も今まで以上に大きくなると思う。せめて、代陽幼稚園が「未来の子供館」にならないだろうか。代陽幼稚園が歩んできた足跡の確かさを残されている記録や教材、教具なども本園や国の宝だと思う。十分な議論をして慎重に進めていただきたい。